

# ネット型球技に挑戦

ーホールディングバレーを題材にー

日頃の体育の授業で、苦勞していませんか？特に、球技は簡単そうで難しいですね。

球技には、大まかに分けると、ゴール型（サッカー、バスケットボール、ラグビー等）・ベースボール型（キックベースボール、ソフトボール等）・的当て型（ペタンク・カーリング等）そして、ネット型（卓球、テニス、バレーボール等）があります。

サッカーやバスケットボールは地域のスポ少での経験差が、そのまま技能差として現れてみんなが楽しめないことが多く、体育の授業で取り組みにくいという声をよく聞きます。

そういう意味では、バレーボールも同じことがいえます。ゲームができるように、アンダーハンドパス、オーバーハンドパス、サーブ、スパイクと四種類の動きを練習します。しかし、試合になると、今まで練習してきたことがゲームでは生かされず、とてもバレーボールとは言いがたいものになっていることが多いですよね。サーブを打っても届かない。サーブが入ったらアンダーハンドレシーブがうまくできないので、そのまま得点になる。

ワンツースリーの三段攻撃なんて夢のまた夢。バレーボールの一番の醍醐味であるスパイクなんて打てやしない。あんなに時間をかけて練習してきたのに。目の前で繰り広げられるのは、羽子板のように一回で相手のコートに返すのみ。これでは未経験者は痛くて、恥ずかしい思いをするだけ…経験者もフラストレーションを溜めてしまうのがオチです。「もうバレーなんてやめて、やっぱりドッジボールしておけばいいかあ〜」なんて諦めていませんか？ちょっと待ってください。そんなあなたも、文化性が高くスポーツの香りがぶんぶん香る、教材に取り組んでみませんか？今回お送りする実技例会では、「ネット型球技：ホールディングバレー」に挑戦します。みんなでわいわい言いながら体験する中で、きっとバレーボールに対する認識が変わり、授業で取り組んでみたいと思えるようになると思います。是非体験してみてください。

1. 日時 2月23日(土) 2:00~5:00

2. 場所 吹田市立第三小学校 体育館

3. 資料代 500円(会員・学生無料)



問い合わせ先：安武一雄（山田第一小学校）

携帯 080-6118-4122